



327名がさわやかな潮風の中60Kmを輪行 利尻島一周ふれあいサイクリング

議会だより



定例会6月会議

各条例の一部改正、各会計予算審議等	2～3
行政報告 利尻空港の利用状況についてなど 5件 …	3
1人の議員が一般質問	4
議会報告・意見交換会での意見要旨	5

平成27年9月

NO 168

定例会6月会議

6月23日に開催された定例会6月会議には一般質問を1件行い、専決処分の承認、補正予算、条例の一部改正などが提案され、慎重な審議の結果、いずれも原案どおり承認・可決しました。

専決処分

▽専決処分（利尻富士町税賦課徴収条例の一部改正）の承認を求めることについて
〔改正点〕

- ・法人町民税の均等割の税率区分の基準の見直し。
- ・個人住民税の住宅ローン減税措置の対象期間の延長、ふるさと納税の拡充。
- ・固定資産税の土地の負担調整措置の延長。

・軽自動車税の平成27年度に新規取得した一定の環境性能を有する軽4輪等について、その燃費性能に応じたグリーン化特例（軽課）を導入。平成28年度分に適用
原案承認

▽専決処分（平成26年度利尻富士町一般会計補正予算（第7号））の承認を求めることについて
〔補正内容〕

補正額1億397万7千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ42億753万1千円とする。
原案承認

▽専決処分（平成26年度利

尻富士町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）の承認を求めることについて

〔補正内容〕
補正額702万4千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ4億6,059万7千円とする。
原案承認

条例改正

▽利尻富士町国民健康保険条例の一部改正について
〔改正点〕

- ・課税限度額の引き上げ
- ・軽減対象となる所得基準額の引き上げ
- ・税率の改正

原案可決

▽利尻富士町介護保険条例の一部改正について
〔改正点〕

介護保険法の改正による、所得の少ない第1号被保険者の介護保険料の減額に伴う一部改正。第1段階の第1号被保険者の保険料について、平成27年度から平成28年度までの間は、保険料基準額（第5段階、年額49,200円）に対する割

補正予算

▽平成27年度利尻富士町一般会計補正予算（第1号）
〔補正内容〕

補正額4,174万9千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ40億4,474万9千円とする。
原案可決

質疑

●社会保障・税番号制度システム整備業務委託料について
長岡議員 今、テレビで個人情報漏洩のニュースが毎日のように放送されていますが、住民基本台帳という大事な情報を管理しているパソコンのウイルス対策はどのようになっているのか。
福祉課長 ファイアーウォールで外部からの不正侵入を防ぎ、ウイルス対策ソフトによりウイルスの進入を防ぐ対策をしております。しかし、最近の報道では手

口が悪質かつ高度な技術により不正アクセスされる事案が増えていると思っておりますので、担当課としましては戸籍関係の情報システムに係わるデータ管理規則を制定し、委託会社とも連携を密にしながら情報が漏洩しないような管理業務を図っていきたくと思っています。また、マイナンバー制度に関しては、情報を分散管理し、サイバー攻撃をうけづらいように考えているようですので、道とも連携しながら対策には万全を期していきたくと思っております。

再質問 問題はウイルスをハッカーがどのようにして入れてくるのか、一番入ってくる手段としてはメールであるかとテレビで報道されていますので、メールのやり取りには常に気をつけていたがら事務対応をしていただきたいと思えます。

福祉課長 今までも情報管理については総務課とも呼応しながら対策をとってききましたが、今後は利尻町・札文町とも戸籍の共同化がされますので対策強化を図ってまいります。

▽平成27年度利尻富士町一般会計補正予算(第2号)

〔補正内容〕

補正額2,452万9千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ40億6,927万8千円とする。

原案可決

その他

▽鴛泊・鬼脇辺地に係る総合整備計画の策定について

〔変更内容〕

鴛泊、鬼脇辺地で実施する事業の追加による変更。

原案可決

財産の取得

▽除雪トラックグレーダーの取得契約について

契約金額 3,942万円
契約の方法 指名競争入札
契約の相手方 稚内市はまなす3丁目3番11号

吉川自動車工業株式会社
代表取締役 貝森好文

原案可決

発議

▽利尻富士町議会会議規則の一部改正について

〔改正点〕

議員の欠席の届出の取り扱いに関して、事故のためとある理由に付け加え、新たに「出産の場合の欠席」を規定。

原案可決

▽利尻富士町議会傍聴規則の一部改正について

〔改正点〕

議会の傍聴席に持ち込むことを禁止しているもの一部である「つえ」を削除する。

原案可決

報告

▽株式会社利尻島振興公社の経営状況の報告

地方自治法第243条の3第2項に基づき、平成26年度決算並びに平成27年度事業計画等が議会に報告されました。

行政報告

◎利尻空港の利用状況について

利尻・丘珠間(HAC)

の3月は往復1,497人で搭乗69.3%。4月は往復1,410人で搭乗率67.5%。5月は往復1,913人で搭乗率85.7%となりました。また、8月8日から16日の9日間、HAC便が午前中臨時便を運行します。多くの方が利用されることを期待と要望をします。

◎利尻空港利用のチャーター便について

JAL系のJエアが7月22日に四国松山新千歳を経由し利尻へ、24日には利尻山への1便運行の予定となっております。

◎平成26年度一般会計及び各特別会計の収支状況について

一般会計は合計で37,873千円、簡易水道事業特別会計が1,260千円、下水道事業特別会計は714千円、港湾整備特別会計は316千円、温泉事業特別会計は404千円、国民健康保険事業特別会計は5,837千円、後期高齢者医療特別会計は44千円、介護保険事業特別会計は71千円、

介護サービス特別会計は154千円、歯科施設特別会計は1,108千円、国民健康保険施設特別会計は1,162千円の合計48,952千円、全ての会計が黒字決算でした。

◎プレミアム商品券発行事業について

販売金額25,000千円、20%割増の額面金額30,000千円のプレミアム商品券は7月12日から販売し、12月31日までとすることで進めております。

◎鴛泊診療所医師の交替について

お知らせ利尻富士やI.P告知端末で周知しておりましたが、高島先生が6月30日をもって退職し、外来診療を6月19日をもって終了しました。後任の医師は6月29日から診療を開始いたします。

議会日誌

6月

12日・利尻富士町戦没者追悼式

15日・議会運営委員会

17日・北海道離島振興町村議会議長会協議会(札幌市、議長・局長)

北海道町村議会議長会定期総会(札幌市)

23日・定例会6月会議

27日~28日

北見神社宵宮祭及び例大祭

30日~1日

利尻山神社宵宮祭及び例大祭

7月

7日・全国町村議会議員研修会(札幌市、議長外各議員・事務局)

10日・鴛泊診療所安達医師歓迎会

14日・全国離島議長会理事會・総会(東京都、議長出張)

8月

22日・利尻島一周ふれあいサイクリング交流会

27日・総務民教産建常任委員会

29日・利尻島鬼脇会総会・懇親会(札幌市、議長出席)

9月

10日・広報・広聴常任委員会・議会運営委員会



定例会6月会議 一般質問

6月23日開催の定例会6月会議における、1名の一般質問の要旨をお知らせします。

災害時の電力供給について



安楽昌弘 議員

安楽議員 平成25年7月に北海道電気保安協会と災害時における協力協定調印式が利尻富士町・利尻町の両町で行われたとのことですが、これにより災害が発生し、避難所等の長時間の停電が発生した場合の電源が確保されるということは、町民にとっても非常に心強く感じるわけでしょうか。

しかし、実際に災害が発生した場合の対応手順や作業の流れ的なものは、町民も理解されていない方も多いと思います。そこで、災害等による停電対策として、我が町では現在、何台の発電機を保有されているか、またその1台の出力はどの程度の物でどのようなに保管されているのか、実際に作業される保安協会職員が船便等の欠航で来島できない場合は地元業者との対応策も考慮されているのか、などが懸念されるかと思います。

さらには発電機の発電試運転などあらゆる事態を想定した訓練も必要であると思われる、災害時の電源の確保は非常に重要であると思います。これらの意味も含め、離島である我が町は、自給自足できる新エネルギーの対策が必要であると考えますが、今後どのような構想をお持ちであるのか、町長の所信を伺います。

町長 質問にあります電気保安協会との災害時協力協定についてはご承知のことと思いますが、この協定の応急対策の内容

は自然災害などにより長時間の停電が発生した場合、対策本部及び避難所の電源確保の助言を行うことや災害等で交通網に支障のない場合、必要であれば次の対策を実施するといったものです。一つ目は町内の避難所に利尻富士町が移動用発電機を用意し、保安協会職員が仮設配線を行い、避難所の照明や暖房電源を確保する。また、停電が解消した後、仮設電源から本電源への切り替えを行う。二つ目は災害復旧後に電気設備に異常がないか点検を行うという協定内容となっており、災害時の電柱電線等の復旧作業については基本的に電気供給事業主の北海道電力が行うものであります。なお、我が町の発電機保有状況は移動用・家用発電機5台を役場防災倉庫に保管しており、秀峰園と老健にも小型発電機を1台保管してあります。災害対策本部となる役場庁舎には72キロボルトアンペアの予備電源装置が停電時に自動起動し、燃料は重油で1日500リットル消費するも地下タンクには通常2,000リットル以上の燃料を補充してありますので、最低4日間は業務継続が可能ですが、冬期間は2日半しか稼働できない可能性もあります。

訓練については、職員に対しても発電機の試運転などきめ細やかな事態を想定した訓練を徹底しております。

新エネルギーの対策については、離島に位置する我が町の電気供給は杏形火力発電所に依存しており、その燃料である重油の供給と災害時に発電所が被災した場合は発電がストップすることから、再生可能エネルギーの必要性は十分認識しておりますが、最北の離島という地理的条件のもとで、効率的なシステムは何か、既存予備電源と合わせた



H25災害時における協力協定調印式

(答弁なし)

蓄電量は何キロワット必要か、避難所の運営計画、福祉施設の業務計画など整備が必要な課題も多いため、北海道や北海道電力の助言もいただきながら検討を重ねていく所存であります。

再質問 隣町の利尻町でも新エネルギーについても実施されており、そのような状況を町民が見た場合、我が町は遅れを取っていると思うことも無きにしも非ずと思えますので、これからは様々な制度を利用し事業提案するなど、災害時の電源確保について万全を期して頂きたいと要望して質問を終わります。

「議会報告・意見交換会」を開催

昨年に引き続き、町民の皆様からのご意見・ご提言を直接聴く場として「議会報告・意見交換会」が5月26日「りぷら」で開催され、その意見の要旨を掲載いたします。

この意見交換会は年に1回、鷺泊・鬼脇地区のいずれかの会場で開催することとしており、出席者の皆様から出されました意見、提言については、定例会6月会議で所管事務調査報告書として町側にも配布報告させていただいております。

※議会側の発言等は掲載しておりませんが、その内容についての紹介は議会事務局までお問い合わせください。

意見・提言内容

- ① 町内の道路等の破損、山の火防線の整備の仕方など、議員が現場へ行って見て議会で主張すべきでは。
- ② 南浜の津波避難看板の目印杭がH26の表示だが未だに看板が建てられていない、隣町の避難対策はきちんとしている。
- ③ 空家対策について、先日ぐらいに新しい法律ができた。その内容を把握している範囲で教えて頂きたい。また、地方自治体が条例を作ることによって強制的になるかもしれないなど前進した感じはするが、その辺はどうなのか。
- ④ 昔の鯉場の番屋の跡地の井戸が危険、町でなんとかならないのか。
- ⑤ 温泉サウナの時計と砂時計が故障してしばらく経過しているが、管理側に町で予算がないと言われらしい。高価なものではないと思うので、議員からも町へ頼んでいただきたい。
- ⑥ ウニ殻の関係で、海中投棄がダメになってから資源の枯渇が叫ばれている。地域懇談会でも話題にさせてもらったが、洗い水など効果があることも道に提出しているので、是非特区も含めて資源の確保の面から議会でも積極的に関わってほしい。
- ⑦ 昔は磯でウニを洗っていたから海へ還っていった。今は作業場でウニを洗い、人工海水を使って2~3時間経ってから海へ流しても効果がないという結果も出た。鬼脇の組合で40年前から人工孵化をやっている、かなり増えたという実績もあるのでウニ資源を増やす検討をしていったらいいのではないかと考えている。
- ⑧ せっかく鬼脇と鷺泊が合併してできた町なのだから、鬼脇地区の議員の人数にかかわらず、お互いともに協力して議会運営をして頂きたい。

たくさんのご出席、ご意見ありがとうございました。

委員会レポート

総務民教産建常任委員会

(5月22日開催)

1 観光施設等状況調査

(1) オタドマリ沼園地自然公園施設

調査したこの施設は、道有自然公園施設であることから、議会としても町側と同調して昨年10月に北海道へ要望書を提出したところである。

今回の状況調査は、その後の進捗状況を調査したものであるが、公衆トイレについては利用者ニーズに対応できるよう洋式化が図られたことにより改善されているが、外観の塗装も含め更なる改修が必要と思われる

るとともに新たに改築するなどの方策も検討する余地があると考えられる。

また、栈橋については一時的な補修であることが伺われ、利用者の安全性や景観への配慮からも早期の改修が望まれる。

テンプル・ベンチについては、破損個所が2箇所確認されたが、宗谷総合振興局からの補修材料にて早期に対応して頂き、配慮願いたい。

いずれも道有の施設であることから、北海道の公園計画等に搭載して頂くなど、予算要望を含め、主要な景勝地としての維持と整備を願うところである。

2 社会教育及び社会体育施設管理状況調査

(1) 公民館及び地域青少年会館

地域青少年会館が昭和48年、公民館が昭和53年といずれも建設から相当の年月が経過している施設であるため、施設の維持管理に苦慮していることが伺われる。(2) 富士見ヶ丘パークゴルフ場及び富士見ヶ丘運動広場

カラスによる芝生被害については、予算化により対応もしていることから愛好者の意見も尊重し、シーズン中の経過観察が望まれる。

(3) テニスコート場
近年の利用者の減少が認められるとともに、フェンスの腐食がみられるので、安全性に配慮願いたい。

(4) 剣道場(翔武館)
きれいに活用され、利用者も多いということであるが、玄関付近の外装とともにトイレの改修を計画的に進める必要があると思われる。

(5) 総合体育館
既にトイレ改修工事に着手され、利用環境が改善されることに期待するとともに、他施設からの転用であることから、耐力度調査を実施するなど、利用者の安全性を確保し、今後もニーズに応える維持管理と利活用に努めて頂きたい。

広報・広聴常任委員会

(6月11日開催)

(1) 議会だより利尻富士No.167の編集についての調査及び協議

議会議長あての文書は直接議会事務局へ

議会議長あての文書や案内状は、日程の調整をする必要がありますので、直接議会事務局にお送りください。

■送り先：〒097-0101 利尻富士町鷺泊字富士野6番地 利尻富士町議会議長 宛

編集後記

暑く、寝苦しい日が続いていたのも束の間、夏らしい日々は一瞬で過ぎ去り、いつの間にかスキの穂が揺れる季節になっていきます。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

我が国では、9月1日を防災の日と定め、その日を中心とした一週間が防災週間となっています。台風、高潮、地震、津波などについて、これらの災害に対処する心構えを私どもも常に持っておきたいものです。

報道では、本年1月13日に台風1号が発生してから9月まで毎月発生しており、観測史上2回目の出来事であると報じていました。今年の台風は、ダブル、トリプル、猛烈などの台風が発生し、国内上陸も4回を数えています。まだ台風シーズンは折り返し地点のことでもあり、今後も一層の注意が必要と忠告しています。

9月10日現在、台風17、18号の影響で国内の広い範囲で、大雨による川の氾濫や土砂災害が発生しており、実りの秋に暗い影を落としています。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を祈念しています。

利尻富士町議会

広報・広聴常任委員会一同